

2 月 2 日配信

「叱られて 目をつぶる猫 春隣（はるとなり）」

俳人であった久保田 万太郎（くぼた まんたろう）の句です。「春隣」というきれいな語感が“もう春がそこまで来ているよ”とやわらかな雰囲気を感じていただいているように感じています。立春を明日に控えた今日は、寒さの中にチラッと春の気配が見え隠れするような、まさに「春隣」なのではないかと感じています。

さて、明日は、暦の上では冬の最後の日「節分」です。昔から、季節の変わり目には鬼が現れる（災難がおこる）と考えられています。そこで、節分に「鬼は外、福は内」と豆をまいて鬼を追い払い、福を迎え入れる行事をなさるご家庭も多いことでしょう。ところが、地域によっては、「鬼は内」や「鬼も内」と言いながら豆をまくところもあるそうですから驚きです。今回は、そんな鬼にまつわる絵本を 2 冊紹介します。

■「まゆとおに」福音館書店

富安 陽子 文／降矢 なな 絵

山姥の娘まゆは、ある日鬼に会います。鬼はまゆを煮て食べようとお湯を沸かしはじめます。まゆはそうとは知らずに薪の山を作ったり、かまどの石を積んだり、手伝ってしまいます。天真爛漫なまゆが、鬼の企みをことごとく打ち砕いていく様子がとにかく痛快です！最終的には、まゆと鬼がお友達になるというところもほっこりします。

■「ふくはうち おにもうち」岩崎書店

内田 麟太郎 作／山本 孝 絵

節分の夜、男が一人で酒を飲んでいて、外で「寒いよう」と声がする。誰かと思うと鬼たち。あちらこちらで豆を投げつけられてきた鬼たちを「それなら」と男は家に入れて酒をふるまいます。そのうち宴会に発展し、そのどんちゃん騒ぎに吸い寄せられて福の神がやってきます。すると、このチャンスを逃すまいとおかみさんと子どもたちが必死に福の神にしがみつき…。とにかく視点が面白く最終的には家族みんなが笑顔になれる一冊です。

いかがでしたか？

小学生に「自分の中の追い出したい鬼は何？」と聞いてみたところ「さぼり鬼」「めんどくさがり鬼」「いじけ鬼」「泣き虫鬼」「好き嫌い鬼」などと、それはそれはいろいろな鬼が出てきました。私にも、もちろん追い出したい鬼はいます。豆をまいて、その鬼が出ていってくれたらいいのになあと、ふと思うこともあります。でも、そんな鬼とも共存できるような自分になれるといいのではないかなあと思う今日この頃です。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝えていただく。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索